

令和3年度 日本学生支援機構第二種貸与奨学金 2次採用の募集

令和3年度日本学生支援機構貸与奨学金（第二種）2次採用の募集を、学部生、大学院生及び法科大学生に向けて以下のとおり行います。新たに奨学金を希望する方は、「貸与奨学金案内」と併せて、本紙も必ずよく読み申請を行ってください。（※貸与奨学金（第一種）の募集はありません。）

1. 申請スケジュール

日時	内容
10/28(木)まで	<p>【申請書類の受取】 G-Portにて申請希望の届出を行う</p> <p>アクセス方法：G-Port トップ⇒[学生支援]タブ⇒[新規申請]⇒[日本学生支援機構奨学金(給付・貸与第二種)二次募集の申請希望]に回答してください。</p>
申請書類受取後 10/29(金)まで	<p>スカラネット入力（インターネットでの申込）</p>
10/29(金)必着 (期限後は一切受理 できません)	<p>【提出書類】</p> <p>提出先：学生センター学生課 提出方法：窓口持参または郵送</p> <p><学部> <u>（①②の書式は奨学金案内に挟み込まれています）</u></p> <p>①確認書兼同意書 全員</p> <p>②スカラネット入力下書き用紙 全員</p> <p>③生計維持者の収入に関する証明書類 該当者のみ (貸与奨学金案内 P. 32-38 参照)</p> <p>④特別控除の証明書類 該当者のみ (貸与奨学金案内 P. 39 参照)</p> <p>⑤マイナンバーが提出できない場合の証明書類 該当者のみ</p> <p>※後記「4. その他注意点」参照</p> <p><大学院・法科大学院> <u>（①②③の書式は奨学金案内に挟み込まれています）</u></p> <p>①確認書兼同意書 全員</p> <p>②スカラネット入力下書き用紙 全員</p> <p>③収入計算書 全員（記入内容に関する証明書類を必ず添付してください）</p> <p>④指導教員推薦所見 全員（学生⇒教員へ依頼⇒教員から学生課へ提出）</p> <p><u>（※申請書類の「指導教員推薦所見」作成について「指導教員推薦所見」を指導教員へ渡し、推薦所見の作成を学生から指導教員へ依頼してください）</u></p>
スカラネット入力 から1週間以内	<p>【提出書類】 学部のみ</p> <p>提出先：<u>日本学生支援機構</u> 提出方法：郵送（指定の返信用封筒を使用）</p> <p>①マイナンバー提出書</p>
12月中旬	<p>・G-Portにて選考結果を通知（採用者は12月10日 JASSO 貸与奨学金振込開始。10月以降の分が合算して振り込まれます。）</p> <p>・12月下旬頃、採用後に関する書類を保証人住所宛に送付します。</p>

2. 対象者

学部学生・大学院生・法科大学院生

※今年度「留年」をした方は対象外です。

※すでに貸与奨学金第二種奨学生である方は申し込み不要です。

3. 貸与始期

令和3年10月～令和4年3月のうち、本人の希望する月

（令和3年4月～令和3年9月は選択できません）

4. その他注意点

父母が海外居住者でマイナンバー関係書類の提出が不可能な場合について

以下 JASSO の HP を確認し、必要な書類を揃えて学生センター学生課へ提出してください。

該当 HP:<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/moshikomi/kaigaikyoju.html>

※「配偶者の収入証明書類」および「世帯構成のわかる証明書類」の未提出が多く見受けられます。海外居住者のための収入基準額算出ツール兼申告書の右上の「必要添付書類」を必ず確認してください。

第一種奨学金から第二種奨学金へ「移行」を希望する方へ

「移行」には以下の条件が必要となります。

・スカラネット申込にて「9（第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します）」を選択すること。

・「移行」前後の奨学金の保証制度がどちらも人的保証であること。

・入学時特別増額貸与奨学金が含まれていないこと。

※移行前の奨学金について既に振込済の金額は、移行後の奨学金の貸与始期を起算点に、移行後の奨学金として貸与したものとします。その際、移行に伴う貸与月額の変更により移行前の奨学金（振込済金額）に過不足が生じたときは、移行後の奨学金の振込みにおいて金額調整が行われません。

5. 問い合わせおよび送付先

学生センター学生課（中央教育研究棟1階） 電話番号：03-5992-1183

<送付先>〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院大学 学生センター学生課奨学金窓口

※郵送で提出する場合、提出用封筒ごとレターパック等に封入して郵送してください。

以 上